



# 議会だより

力を合わせていっしょに稲刈り ～旭北小学校・旭東小学校～



令和6年第4回定例会の予定……裏表紙

## 議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で  
本会議を傍聴できます。

銚田市議会 中継 [検索](#)

令和5年度決算を  
チェックしよう!



銚田市マスコット  
キャラクター

ほこまる

令和5年度決算特集…………… P2～7

令和6年第3回定例会の審議結果は? …… P8～9

注目議案は? 請願審査結果は? …… P10

ここが聞きたい! 一般質問  
9人が質問しました …… P11～16

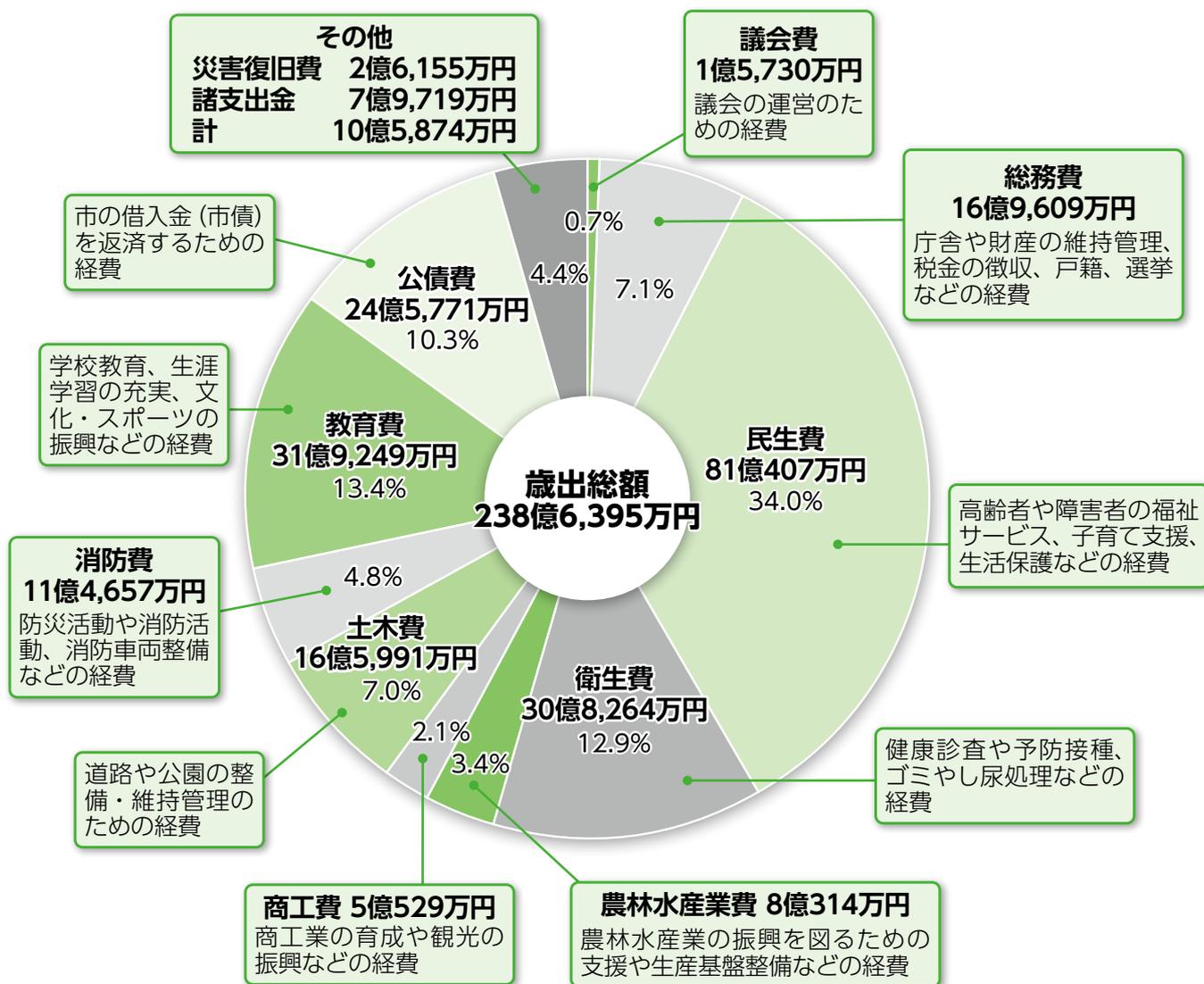
銚田市議会に関するアンケートを実施します! …… P17

委員会活動報告 …… P18～19

# ちの税金

市民の皆さんが、銚田市に納めている市税(市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税)、国や県からの交付金や補助金などがどのように使われたのかお知らせします。

## 一般会計歳出



注) 四捨五入により記載しているため、合計が一致しない場合があります

農業集落排水事業	企 業 会 計			水 道 事 業	下 水 道 事 業
	2億2,629万円	収 入	14億9,698万円	12億1,043万円	2億8,655万円
	支 出	14億7,113万円	12億 19万円	2億7,094万円	
2億2,329万円	収 入	6億2,567万円	2億7,267万円	3億5,300万円	
	支 出	12億4,633万円	7億8,725万円	4億5,908万円	

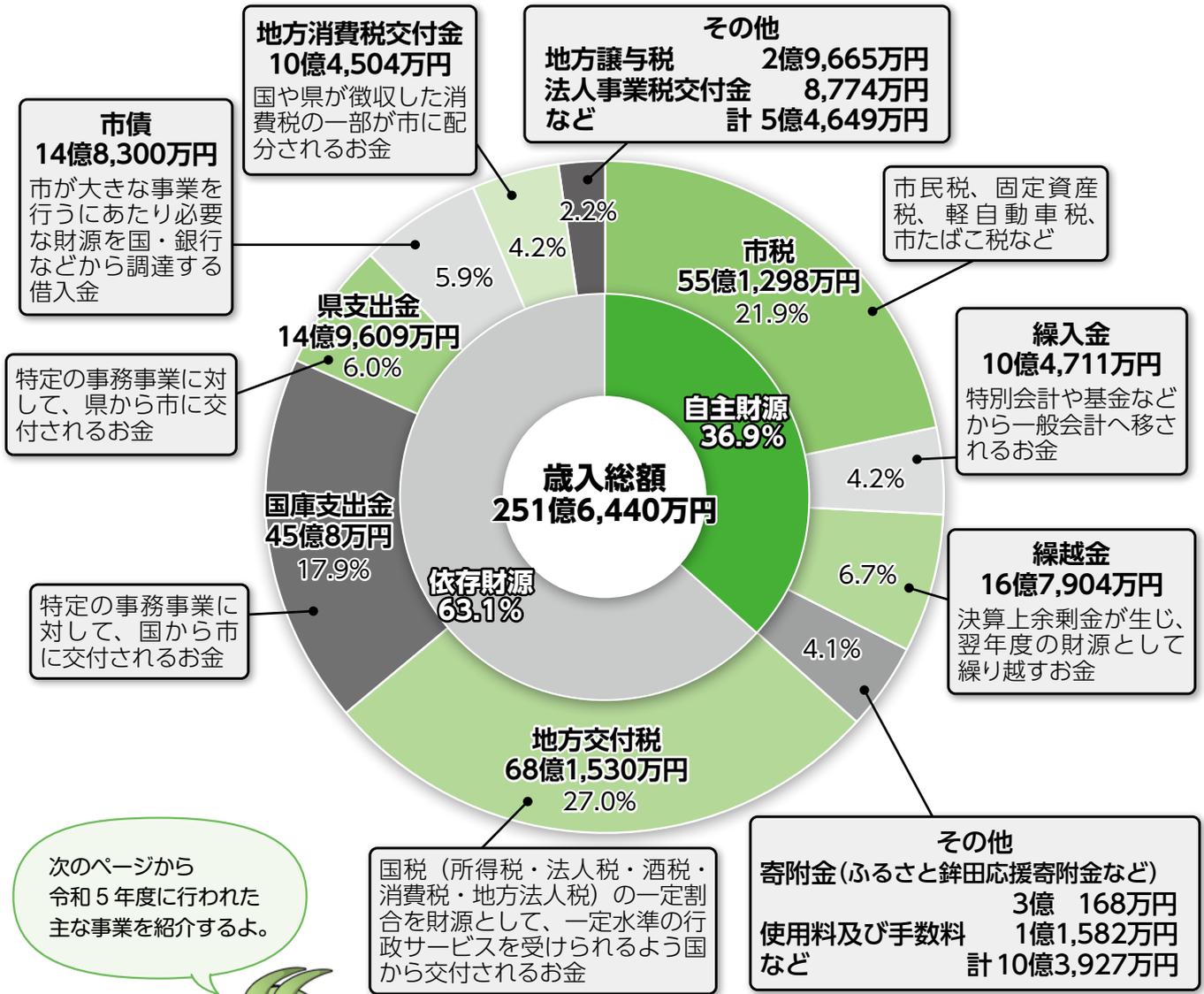


# 特集

令和5年度歳入歳出決算を集中審議

# どう使われたの？ 私た

## 一般会計歳入



次のページから令和5年度に行われた主な事業を紹介するよ。



※「自主財源」とは、地方公共団体が自主的に収入できる財源  
 ※「依存財源」とは、国や県により定められた額が交付される財源

会計区分	一般会計	特別会計	一般会計		
			国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
歳入	251億6,440万円	133億8,290万円	71億1,359万円	7億 814万円	53億3,488万円
歳出	238億6,395万円	130億5,716万円	69億4,886万円	6億9,776万円	51億8,725万円

## 公共交通対策事業



主な事業

4,942万円

「ほこまる号」運行経費に対して支援することで、市民の移動手段の確保に努めたほか、市外への移動需要に対応するため、市外限定デジタルタクシー利用助成事業の導入に向けて業務委託契約を締結した。

## 鉾田市本庁舎整備事業



主な事業

120万円

令和12年度を目途に新庁舎・公共施設等整備を推進し、庁内推進体制を整えたほか、基本構想策定に着手した。基本構想策定においては、鉾田市新庁舎・公共施設等整備基本構想検討委員会を設置し、検討を進めている。

## 令和6年7月1日から 事業スタート!!

市外医療機関への通院時に市に登録されたタクシー会社を利用することで、**運賃を助成する制度**です。

利用するには、**事前に利用者証の交付を受ける必要**があります。

対 象：鉾市内に居住する方で、利用者証の交付を受けた方

助成額：1回の利用につき運賃の2分の1以内(年間限度額あり)



市外限定デジタル  
タクシー事業  
詳細はこちら

## (仮称)鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業

主な事業

1,384万円

(仮称)鉾田市子育て・コミュニティセンター基本設計及び実施設計業務委託、管理運営計画策定業務委託については、それぞれ令和4年7月と令和5年3月に契約を締結したが、物価高騰などを理由に当該事業計画を実施しないこととしたことから、契約の解約に伴う賠償金(1,212万円)を支払った。



詳しく知りたい方は  
議会だよりNo.74  
P18～19  
追跡レポート  
を見てね!



市HPで令和5年度決算書及び決算に関する説明書が公開されています。



決算書はこちら



決算に関する説明書はこちら



# 特集

## 令和5年度歳入歳出決算 主な事業をピックアップ



私たちの税金がどのような事業に使われたのかチェックしてみましょう!

### 涸沼・鹿島灘海岸地区道路 整備事業(繰越)



主な事業

2,779万円

海岸の地区及び大洗鹿島線涸沼駅付近の地区を結び、生活交流の推進や緊急避難路として地域間道路の整備を行う目的で、沢尻・上釜地区の用地測量及び土地評価・不動産鑑定業務等を実施した。

### 市営住宅管理事業



主な事業

835万円

住宅に困窮する低所得者に対し賃貸し、生活の安定および社会福祉の増進に寄与することを目的とした、市営住宅の維持管理を行った。

### 鉾田・大洗広域事務組合 負担金



主な事業

1億2,389万円

鉾田・大洗広域事務組合の施設整備費や組合運営費等を負担することにより、環境負荷の少ない新ごみ処理施設の建設を推進した。

### 第一保育所運営事業 第二保育所運営事業



主な事業

4,567万円

3,706万円

保育士の負担軽減と業務の効率化を図り、アプリでの連絡事項等を配信することにより、保護者の利便性の向上に努めた。

### 保健事業と介護予防の一体的な 「元気高齢者」サポート事業



主な事業

1,079万円

フレイル予防のための運動、栄養、口腔をテーマとした介護予防教室等を実施した。「高齢者の質問票」による状態把握を実施し、フレイルの恐れがある方や健康に問題がある方への訪問などによる介入支援を行った。

### 英語指導事業



主な事業

3,904万円

ALTを活用した授業の展開により、コミュニケーション能力の育成に努めるとともに、外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深めた。

※決算額は四捨五入により記載しています。※イラストはイメージです。



## 総務企画分科会 主な質疑

### 9月17日

#### 市税の不納欠損の対応は

**問** 市税不能欠損の多くは外国人とのことだが、未納のまま国外へ転出する外国人への対応は。

**答** 市民課の手続き時に必要事項が記入された書類を渡し、必要な手続き及び納入を促している。

**意見** 積極的に未納を防ぐように取組んでいただきたい。

※不納欠損…未納となっている市の債権(市税など)のうち、徴収の見込みが立たないなどの理由により未収金から除くこと。

所管：政策企画部、総務部、会計課

#### コンビニ証明書交付事業の実績は

**問** 令和5年度分の各種証明書の発行実績、証明書別の発行時間は。

**答** 住民票の写しが3,044通、印鑑登録証明書が2,811通、令和4年度実績との比較で約1.7倍の伸び。発行時間は、市役所の開庁時間帯と同じ時間帯の利用が多い。

**意見** 市民の利便性向上に向けてマイナンバーカードの普及を考慮の上、検討し進めていただきたい。

## 経済建設分科会 主な質疑

### 9月18日

#### 空き家対策の実績は

**問** 空き家対策事業における実績、周辺住民からの苦情は。

**答** 解体実績に対する補助申請が16件で、周辺住民からの苦情等はない。また、空き家バンクを活用した移住定住状況については、1件の売買契約が行われた。

所管：環境経済部、農業委員会、建設部、上下水道部

#### 市道維持補修事業における現状は

**問** 各地区への碎石運搬状況の実績は。

**答** 旭地区が15件、鉾田地区が33件、大洋地区が73件である。

**意見** 各地区の予算配分も含め、碎石運搬の明確な基準を定めた上で、事業を進めていただきたい。

## 厚生文教分科会 主な質疑

### 9月19日

#### 介護予防運動指導事業委託料の内容は

**問** 事業の内容は。

**答** 元気づくり教室、さわやかフィットネス、膝痛教室やリハビリの事業などを鉾田市健康づくり財団及び社会福祉協議会に委託して実施している。

**意見** 高齢者の健康寿命延伸のためにこれからも継続してほしい。

所管：福祉保健部、福祉事務所、教育委員会

#### 学校現場のICT化は

**問** 指導総務事業の内容と成果は。

**答** GIGAスクール構想のもと、児童・生徒に1人1台の端末を配備し、デジタルドリル等を活用した学習をしている。また、教師には校務支援システムを導入し、事務の負担軽減を実現した。



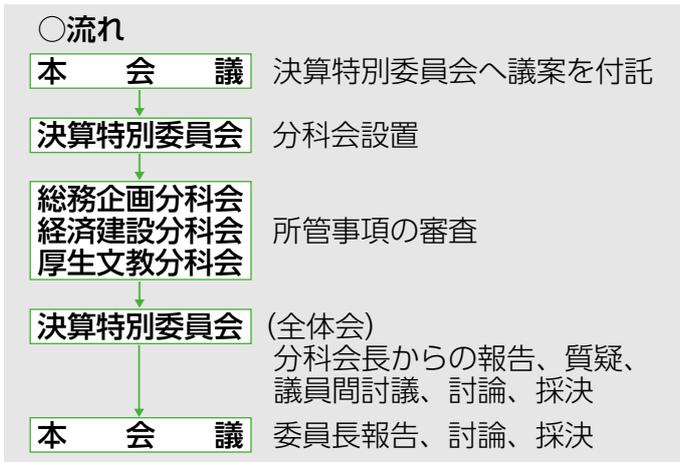
## ■ 決算特別委員会 ■

決算特別委員会は、常任委員会ごとに分科会を設置し、集中審議を行いました。

審査の能率向上を図り、詳細な検討を行うために置くもの。

委員長	小沼 勝
副委員長	堀田 正衛
委員	議長及び議会選出の 監査委員を除く議員

9月11日設置



### 全体会 9月24日

9月24日に行われた決算特別委員会では、各分科会で審査された議案の審査経過が報告され、その報告に対する質疑を行いました。

続く議員間討議では、各分科会より「外国人住民に対する行政サービスについて」、「空き家対策を踏まえた、これからの市営住宅のあり方について」、「元気な高齢者づくりのための支援について」が提起され、それぞれ事業の充実を図るべきではなどの意見が出されました。

この他、(仮称) 鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業の中止に至るまでの執行部の説明のあり方、責任の所在についての討議がされました。

その後、討論・採決が行われ、議案第1号 令和5年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定については賛成少数により不認定となりました。議案第2号については賛成多数により認定、議案第3号から議案第7号については全会一致で認定されました。

## ■ 主な討論

### 議案第1号 令和5年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について

反対

市税賦課徴収に対する公平原則の欠如、安易な滞納処分と不能欠損の取扱いは納税者に説明できるものではない点、国民健康保険特別会計への一般会計からの多額繰出金にあっては計画性のない運営である点、子育て環境の改善充実に向けてのサービス等は短絡的な取扱いが続いている点、(仮称) 鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業にあっては、市長の思い付き政策で、意図的に判断を遅らせ、市民の理解を求めないまま中止し、多額の予算を無駄にした場当たりの行政運営、安易な予算執行に対し、到底、認定できないものとして反対する。

賛成

横断的に切れ目のない政策展開を図り、「<sup>こ</sup>幸循環のまちづくり」を着実に進め、子育て世代の経済的負担の軽減、児童生徒の教育環境の充実、(仮称) 鉾田市子育て・コミュニティセンター整備事業にあっては、物価高騰により中止の決定がなされたものの、ホール機能も含め、新庁舎及び公共施設の集約・複合化の検討が開始され、市の50年、100年後の将来を見据えた場合、この中止の判断については一定の理解ができるものであること、その他の多くの事業推進の中で国県補助金を有効に活用した事業展開は評価することができることから賛成する。



# 令和6年第3回定例会

## 主な日程

- 9月3日(火) 本会議
  - ・開会
  - ・会議録署名議員の指名
  - ・会期の決定
  - ・諸般の報告
  - ・行政報告並びに市長提出議案説明
  - ・(議案第1号から第16号及び監査報告)
- 9月5日(木) 本会議
  - ・一般質問
- 9月6日(金) 本会議
  - ・一般質問
- 9月11日(水) 本会議
  - ・議案第8号から第16号質疑討論採決
- 9月13日(金) 本会議
  - ・決算及び財団報告に関する質疑
  - ・決算特別委員会の設置
- 9月17日(火) 決算特別委員会(総務企画分科会)
- 9月18日(水) 決算特別委員会(経済建設分科会)
- 9月19日(木) 決算特別委員会(厚生文教分科会)
- 9月24日(火) 決算特別委員会(全体会)
- 9月25日(水) 総務企画常任委員会
- 9月26日(木) 厚生文教常任委員会
- 9月27日(金) 経済建設常任委員会
- 9月30日(月) 本会議
  - ・議案第1号から第7号委員長報告質疑討論採決
  - ・議案第17号及び議案第18号
  - ・提案説明・質疑・討論採決
  - ・請願第06、2号委員長報告質疑討論採決
  - ・議案第2号提案説明・質疑・討論採決
  - ・議員派遣の件
  - ・閉会

### 各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案等	議員名														討論		採決結果				
		関根正史	久保田豊	土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高埜栄治	亀山彰	小沼勝	根寄真	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	山口徳一	田口清一		堀田正衛	高野衛	※議案等について	賛成
第3回定例会	第1号 令和5年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について	○	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	鬼澤高野	久保田亀山	認定
	第2号 令和5年度鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	水上	高野	認定
	第9号 鉾田市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	水上	高野	可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 退：退席 欠：欠席 除：除斥

### 全会一致で可決した議案等

会議名	議案等	
第3回定例会	第3号	令和5年度鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
	第4号	令和5年度鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	第5号	令和5年度鉾田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について



# 概 要

令和6年第3回定例会は、9月3日から9月30日までの28日間の会期で開かれました。議案は、市長から令和5年度各会計決算など18件が提出されました。

なお、令和5年度各会計決算は、決算特別委員会に付託され、所管する分科会ごとで集中審議が行われました。 (P.6、7)

一般質問では、9人の議員から通告があり、子育て支援政策の更なる充実、人口減少の歯止めについて、地方創生に関する企業間包括連携について、などの質問をしました。

(P.11～P.16)

総務企画常任委員会では「財政10ヶ年計画(令和7年度以降)」と重点諸計画の整合性及び財政運営、「財政運営上活用する地方債及び本市各基金の有効性」についての所管事務調査、厚生文教常任委員会では請願審査と併せて、「交通安全プログラムの進捗」、「地域包括支援センターの現状」についての所管事務調査、経済建設常任委員会では「水道事業の広域化」、「国道51号三子地区道路整備事業」についてなど5点の所管事務調査が行われました。

今定例会では、提出された議案はすべて可決され、請願06-2号は採択されました。

また、議員提出の議案第2号「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について」も全会一致で可決されました。 (P.10)

## 全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議 案 等
第3回定例会	第6号 令和5年度銚田市水道事業会計収入支出決算認定について
	第7号 令和5年度銚田市下水道事業会計収入支出決算認定について
	第8号 銚田市税条例の一部改正について
	第10号 銚田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第11号 令和6年度銚田市一般会計補正予算(第3号)
	第12号 令和6年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	第13号 令和6年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	第14号 令和6年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第1号)
	第15号 令和6年度銚田市水道事業会計補正予算(第1号)
	第16号 令和6年度銚田市下水道事業会計補正予算(第1号)
	第17号 令和6年度銚田市一般会計補正予算(第4号)
	第18号 工事請負契約の締結について(銚田市立旭小学校校舎等新築工事)
	請願第06-2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
	議案第2号 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について
	報告第5号 専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について
	報告第6号 専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について



市長提出議案概要はこちら



可決

## 令和8年4月開校に向けて

議案第18号 工事請負契約の締結について  
(銚田市立旭小学校校舎等新築工事)

### 【工事概要】

工 事 名 銚田市立旭小学校校舎等新築工事  
 工事場所 銚田市玉田地内  
 工事内容 校舎、屋内運動場、プール、外構、調整池等  
 契約額 49億8,850万円(税込み)



銚田市最後の  
統合小学校！  
完成が待ち遠しい  
ですね！



銚田市立旭小学校イメージ

## 請願審査

### 採 択

請願第06-2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府  
予算に係る意見書採択を求める請願

### 【請願内容】

子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠である。

このことから国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、教育機会の均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるもの。

### 【審査経過】

厚生文教常任委員会に付託された本請願を、請願紹介議員及び参考人の出席を求めて審査しました。審査においては、加配教員の配置の方法や少数職種について、地域部活動移行に係る教職員の負担及び世代間での仕事の考え方の違いによる職場環境の課題など様々な質疑応答が行われ、委員からは、令和5年第4回定例会でも同一趣旨の請願を審議している案件であることから、教育環境の改善のため継続して採択するべきであるとの意見がありました。

審査の結果、本請願は願意妥当であると認め、**全会一致で採択**となりました。

なお、本会議においても全会一致で採択となりました。



意見書はこちら



国に対し意見書を提出しました





# ここが聞きたい!! 一般質問

議員名	質問事項
水上 美智子 P12	1 子育て支援政策の更なる充実、人口減少の歯止めについて
	2 視覚に障がいがある方への音声コード支援の充実について
	3 地方就職学生支援事業について
	4 スマートフォンのアプリの活用について
鬼澤 治男 P12	1 大竹海岸鉾田海水浴場を開設しなかった理由について
	2 ほっとパーク鉾田・とつぷさんて大洋の運営について
久保田 豊 P13	1 地方創生に関する企業間包括連携について
	2 公立認定こども園整備について
	3 新しく公表されたハザードマップから読み解く避難所・避難場所の設置・運営について
関根 正史 P13	1 家庭教育について
	2 学校教育について
	3 生分解性マルチへの転換について
	4 地域計画の策定について
高野 衛 P14	1 日本原子力開発機構「常陽」(大洗町)の再稼働問題について
	2 南海トラフ地震への備えについて
	3 熱中症対策としてエアコンの電気代補助について
	4 鉾田市の海岸の浸食対策について
	5 訪問介護事業者への支援について
亀山 彰 P14	1 消滅可能性自治体の烙印を押された本市と大洗鹿島線をはじめとする地域公共交通事業者応援と利用者への支援について
	2 低価格落札や不可解な落札が目を引く建設コンサルタント等業務の入札制度について

議員名	質問事項
羽成 洋一 P15	1 視覚障がい者への市職員の配慮について
	2 市内の大規模盛土造成地について
	3 小・中学校通学路の安全対策について
高埜 栄治 P15	1 女性を取り巻く「困難な問題」の解決に係る支援策の充実について
	2 幼少期児童を有する家庭から育む郷土愛ならびに魅力的資源から醸成創造するラーケーション観光振興について
	3 本市に立地・隣接する原子力研究施設及び自衛隊施設の管理運営危険リスクに対する認識ならびにその対応及び陳情活動等について
土子 勝也 P16	1 防犯カメラの設置の推進事業について
	2 ふるさと納税と企業版ふるさと納税について
	3 鉾田市農業再生協議会について
	4 鉾田市の水質について

## 一般質問とは?

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!



鉾田市議会ホームページで一般質問の会議録を公開しています!

- ① 鉾田市のホームページへアクセス  
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
  - ② 市ガイド内の「鉾田市議会」をクリック
  - ③ 会議録をクリック
- ※今定例会の会議録は6月上旬公開予定です。



また、各議員の2次元コードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。

鉾田市議会 会議録

検索





水上 美智子

## ランドセル購入費の助成を



**問**

入学時にランドセルまたは通学用リュックサックの購入費の補助を行い、保護者の経済的負担の軽減につなげてほしいと考える。そこで市の見解を伺う。

**答**

【教育部長】人口減少を抑えるための施策については、教育委員会としても課題である。現在本市においては、家庭の経済的負担を軽減し、より子育てしやすい環境の向上を図り、子育て世帯から選ばれるまちづくりを推進することを目的として、給食費の実質無償化やスクールバスを無料にすることで各家庭の支援を行っていることから、ランドセルの購入費補助を実施する考えはない。

**再質問**

令和7年度、令和8年度及び令和9年度新入生の児童数見込みを伺う。

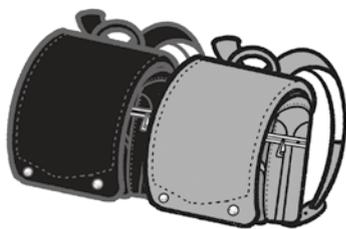
**答**

【教育部長】住民基本台帳を基にした新入生の見込み数は、令和7年度243人、令和8年度235人、令和9

年度224人である。

**提言**

少子化が進んでいることが確認できた。そこで第3期子ども・子育て支援事業計画でアンケートを行った結果、就学前児童・小学生と共に子どものための経済的負担が大きいという回答が一番多かった。この経済的負担が大きいところにも補助を出すことにより、もっと選ばれらるまちにしてほしい。ランドセルの購入費を助成していただければ、もっと選ばれるまちになると私は考えている。ぜひ、このアンケートの結果を受けて、子育て支援のさらなる充実を検討していただきたい。



## 大竹海岸鉾田海水浴場の今後は



鬼澤 治男



**問**

大竹海岸鉾田海水浴場を開設しなかった理由を伺う。

**答**

【環境経済部長】本市の海水浴条例において、安全に整備し、危険防止を図り、海水浴客が安心して遊泳できるように管理・運営すると規定している。本年度については、砂浜の浸食による影響で砂浜の護岸ブロックが一部破損していることや基礎部分に敷き詰められていた石が流出している状態であるなど、来場する海水浴客がけがをする可能性があるかと判断したため、開設を中止とした。

**再質問**

海水浴場を開設しないとの告知や現場の危険対策はどのように対応したか伺う。

**答**

【環境経済部長】海水浴場を開設しないというところで、テレビ、新聞等で報道したほか、ホームページ、広報紙、現場への看板設置などにより海水浴場を開設していない旨や危険である旨の周知を図った。ま

た、現場については、職員による巡回を毎日実施し、さらに警察への巡回依頼や消防署等との連携を図り、対策に努めた。

**再質問**

大竹海岸鉾田海水浴場の再開に向けての対応策を伺う。

**答**

【環境経済部長】海水浴場の再開に向けた対応については、海岸の管理者である茨城県へ速やかな護岸の修復と砂浜回復のための対策を要望したところである。県では改修の事業化に向け専門家等による意見を聞き、対応策を協議・検討中との報告を受けている。市としては、引き続き県に対して早急な対応を働きかけていきたい。【提言】本市の観光資源活用できるように、なるべく早い再開をお願いする。



## 郵便局との連携による市民サービス向上を



久保田 豊



**問**

全国各地の郵便局は、証明書交付等の事務を市から受託している。また、マイナンバーに関する業務についても郵便局に委託できるようにしている。マイナンバーカードについては、5年ごとの更新の作業が必要であり、有効期限を迎える人はこれから増え、市役所窓口が混雑することが予想される。そこで郵便局へのマイナンバーカード申請の事務委託について市の考えを伺う。

**答**

【総務部長】マイナンバーカード関連業務については、事前準備として郵便局と市役所間のネットワークの構築に加え、専用端末や備品等の設置が生じ、事業着手には長期的なコストの精査が必要であると認識している。また、郵便局で従事する職員研修等の実施、郵便局と調整を行う人員等も勘案すると、現段階で導入することは困難であると考えている。しかしながら、窓口業務が多様化する中において、

**提案**

窓口サービスの向上を図ることは重要と捉えており、郵便局との連携については今後も研究していく。

確かに費用対効果を考えるに困難ということは理解できる。しかし、マイナンバーカードについては今後5年後、10年後の少子化により市で働く職員の数も減っていくと推測できるため、同じ窓口業務をしている郵便局に業務委託することも有効と考える。今後とも郵便局との連携及び情報交換をして、市民のサービスの向上につなげてほしい。



## 生分解性マルチの普及を

関根 正史



**問**

農業生産におけるビニールマルチ、プラスチックマルチは、雑草抑制や土壌の温度調整、水分保持、病害虫の抑制など必要不可欠な資材の一つである。本市で行っている生分解性マルチの実証実験の進捗状況と今後の生分解性マルチへの転換の考えを伺う。

**答**

【環境経済部長】実証実験については、現在市内にて5種類の生分解性マルチと慣行マルチの計6種類のマルチを用いて、60アールの圃場で実施している。この実証実験は2か年計画で実施しており、本年度は鉾田地区1か所、来年度は鉾田地区に加え、新たに旭、大洋地区と市内3か所での計画を予定している。進捗状況については、4月30日にマルチの展張を行い、8月末現在で順調にマルチの分解、崩壊が進んでいることを確認している。

うな影響が生じたか検証していく。

次に、生分解性マルチへの転換については、マルチの剥ぎ取り、巻き取り、処分などの工程がなくなることで労働力や労働時間の削減につながる一方、慣行品よりは高額となり、経費がかさむ一面もある。今回の実証実験の結果を基に、関係機関とマニュアルを作成し、農家の皆様へ周知を図るとともに、生分解性マルチの普及、新たな補助事業の創設など、既存の農業用済みプラスチックの排出削減と並行して研究していく考えである。

**提言**

生分解性マルチの普及率の向上がコスト削減に大きく影響することから、何より普及率を上げることが大切であると考えられる。本市が生分解性マルチ普及日本一、農業生産日本一、環境への取組日本一と言われるよう生分解性マルチ展開へ向けて支援、また研究をお願いしたい。





## 日本原子力研究開発機構『常陽』の再稼働の危険性は

高野 衛



**問** 「常陽」がこれから再稼働すれば、使用済みの核廃棄物が発生するが、その処理技術は現在全く未完成で見通しがない。使用済核廃棄物の問題について市の考えを伺う。

**答** 【副市長】使用済み核燃料の処理については、様々な研究開発過程にある。現在の取組については、各電力会社等とも連携をしながら国で進めている。使用済み核燃料があること自体大変な危険性があるということとは十分認識している。安全性が保たれるよう幾度となく求めていきたいと考えている。

**再質問** 危険性を理解しているならば、なぜ再稼働に了解するよくな意見をつけるのか。

**答** 【副市長】国の新基準を満たせば、安全性は保たれていると考える。

使用済みの核燃料の取り扱いについては、大変危険性が伴うのは事実であり、事故が起こらないよう万全の体制を整えている。

ることが重要である。国においても福島第二原発の事故のようなことが起こらないような取組をしているところである。危険性があることは承知しているが、安全性が保たれるよう求めていくということが重要と考えている。

「常陽」については、通常の原子炉と違い、がん等の治療にも役立つ研究を行っている。将来的には先進的な医療にも十分貢献できる施設であると考えている。

そういった観点から再稼働については認めることが必要と考えているが、いざれにしても市民の理解が重要になる。

**意見** 危険性は承知をしながらもこの再稼働を了解したということには、大変納得がいかない。

医療についてもがんの治療に貢献できるということだが、これは既存の加速器でも製造実績がある。必ずしも「常陽」でしか作れないわけではない。

## 不可解な落札が続く建設工事等の入札は

亀山 彰



**問** 2017年以降の工事予定価格1,500万円以上の測量、設計、コンサルタント業務委託の入札件数等、併せて、建築工事件数等について伺う。

**答** 【政策企画部長】建築工事件数は、合計24件で工事平均落札率は92.48%、業務委託は70件で平均落札率は70.92%である。

**再質問** 工事入札は軒並み高い落札率が見られ、また業務委託では設計業務の落札率が低く、管理業務の落札率が高い傾向が見受けられるが、この結果について考えを伺う。

**答** 【政策企画部長】工事は関係法令に則って、適正に行っており、適正な結果であると認識している。

**再質問** 実施設計と管理業務を一体で発注する制度導入の考えについて伺う。

**答** 【政策企画部長】他市町村の動向や、メリット・デメリットを精査し、研究していきたい。

**答** 【副市長】様々な先行的な事例も踏まえ

ながら、適正な価格で落札できるよう取り組んでいきたい。

**問** 新庁舎複合施設設計画が進んでいるが、設計コンサルタント業務、建築工事入札方法など、どのような考えなのか方向性を伺う。

**答** 【政策企画部長】委託は、一般競争入札だけでなくプロポーザル方式などを含めて検討したい。建設工事入札方式は、基本計画の中で検討を行うこととなり、現在は基本構想検討委員会にて従来方式、E CI方式、DB方式、PFI方式等について例示しているところである。限られた時間と財源の中で、より効率的・効果的に事業を進めることができる建設手法やその後の維持管理運営まで含めた事業手法について十分検討していきたい。

**要望** これまでの認定子ども園、人道橋、(仮称)銚田市子育て・コミュニケーションセンター整備事業等の失敗を糧に、同じ轍は踏まないようスピーディーに進めることをお願いしたい。

このままの認定子ども園、人道橋、(仮称)銚田市子育て・コミュニケーションセンター整備事業等の失敗を糧に、同じ轍は踏まないようスピーディーに進めることをお願いしたい。



## 視覚障がい者への配慮を



羽成 洋一



**問** 視覚障がい者の窓口来訪時の市職員への配慮、対応についての現状を伺う。

**答** 【総務部長】市役所や各施設には、様々な方が様々な用件で来庁する。その中には、市役所に不慣れな方も多く、職員には挨拶、声かけをして、用件をよく聞き取るなど、丁寧な対応を心がけるよう常に指導している。特に視覚障がい者の方の場合、庁舎が狭隘で、移動に危険を伴うことも想定されることから、直ちに寄り添い、声をかけるなど、障がい者の特性に応じた対応が必要であると認識している。障がいをお持ちの方は、その種類や程度も多様であることから、それぞれの障がいに応じた対応に心がけ、コミュニケーションによるバリアフリーが実現できるように努めていく。

**再質問**

寄り添っていくという対応について、どのような指導方法のもと職員は認識しているのか。いろいろな障がい者の方がいるが、例えば目の不自由な方は白杖

という杖を持っていて、目が悪いんだと認識するような知識が必要である。市職員の障がい者の方への対応として、特に窓口に従事される職員の認識が低いのではないかと。また、障がい者等の方とコミュニケーションを取ることは、市長からもまずは挨拶などの声かけが大事だということでは常日頃指導されている。不便な施設とまでは言わないが、施設利用時の障壁を、職員のマンパワーでクリアできるように取組をしていきたい。

**提言** 各職員の気配りの問題である。今後ますます周知してほしい。お金をかけて設備をどうのこうのということではなく、お金をかけずしてできるマンパワーで窓口の対応が改善できるように努めていただきたい。

## ラーケーション推進による郷土愛醸成と観光振興を

高埜 栄治



**問** 本市の児童生徒家庭対象のラーケーション体制整備と家庭間格差施策について伺う。

**答** 【教育部長】教員・児童生徒と保護者に周知し10月から実施する。家庭状況に合わせた取得に配慮したリーフレット等の活用を通して環境整備に努めたい。

また、教師の事務負担にならないよう留意していく。

**答** 【教育部長】家庭間格差の配慮の点では、身近な地域や施設活用で、児童生徒が体験・経験を積み機会としていただきたい。

**問** 本市の自然環境・歴史文化・産業等を最大限に活かした関東・茨城空港就航先家庭等を対象とする事業推進について伺う。

**答** 【環境経済部長】本市の地域資源を活用した事業を構築し、全国のモデルとなるよう努めたい。

**答** 【市長】市民参画については行政の取組が不足している点もあるが、銚田市民の特異性も影響していると思われる。官

民一体の取組ができるよう啓発に努めたい。

**問** 大学ゼミナール等への実践研究フィードの提供と観光計画への提案について伺う。

**答** 【環境経済部長】大学との連携は、地域の活性化や人材育成に意義が高いものと認識している。観光戦略についても観光全般の振興を図るべく研究していく。

**再質問** 関東地区観光学専攻大学生のゼミナール大会開催地として、また大学観光学研究のメッカとして位置付けてはどうか。

**答** 【市長】観光を含めた様々な提案に対して、職員が自ら考え、外出て、積極的に交流し、連携機会を創る必要があると認識している。

**再質問**

全国に先駆けて民間事業者等を活かしてラーケーションのまち銚田を全国に発信していただきたい。

**答** 【環境経済部長】観光民間事業者との連携の可能性を模索していきたい。





土子 勝也

## ふるさと納税の実績及び成果等は



**問** ふるさと納税の委託先件数、企業版ふるさと納税の委託先の実績を伺う。

**答** 【環境経済部長】委託先について、令和4年度はふるさと納税推進業務及び地域プロモーション業務1件とポータルサイト契約が5件、令和5年度はふるさと納税推進業務及び地域プロモーション業務1件とポータルサイト契約が8件である。

**答** 【政策企画部長】企業版ふるさと納税獲得実績のある事業者1社へ委託し、10社から総額250万円の寄附をいただいた。

**再質問** 企業版ふるさと納税は、市長のトップセールス次第で納税額が変わってくると聞く。今後市長はどのように周知していくのか。

**答** 【市長】担当部局によるPRや私の人脈など活用しつつ、幅広い周知に努めたい。

**問** ふるさと納税の返礼品数について伺う。  
【環境経済部長】令和4年度末時点1、

110件、令和5年度末時点1,321件、令和6年8月末時点1,373件と返礼品数は増加している。

**再質問** 納税額増加に向けた、担当者を配置する考えはあるか伺う。

**答** 【市長】担当者は配置している。先月、担当部長及び担当者に対し、方法の見直しを指示したところである。

**問** 返礼品の多様化が地域振興にどのようにつながっているのか、地域特産品や観光資源PRがどのような成果をあげているのか。

**答** 【環境経済部長】多くの返礼品を取り扱うことにより事業者の新たな販路開拓等に寄与するものと考えている。また数多くの特産品があること、農産物の新鮮さなど地域資源を発信することで交流人口の増加などが見込めるものと考えている。さらに商工観光事業者や生産者の取引拡大、所得向上、観光資源の活用促進、新商品開発など、地域経済振興に大きく寄与するものと考えている。

## 委員会活動報告

### 公共施設のあり方に関する調査特別委員会(令和6年9月6日)

「銚田市新庁舎・公共施設等整備基本構想の策定に向けた要望書」を提出しました!!

本市の新庁舎・公共施設等整備の取組が、本市の発展、市民の安全・安心の確保など将来を見据えたものとなるよう、各自治体の取組み及び先進事例について調査・研究を行うため、5月8日(水)～5月10日(金)に、岩手県遠野市・紫波町、栃木県鹿沼市・壬生町に視察研修を行いました。

本特別委員会では、視察した4市町の取組に加え、執行部からの会議結果・進捗状況等の報告をもとに協議を重ねてきました。

そこで、特別委員会として基本構想に係る意見のとりまとめを行い、執行部に対し要望することとしました。

9月6日(金)に「銚田市新庁舎・公共施設等整備基本構想の策定に向けた要望書」を公共施設のあり方に関する調査特別委員会委員長、副委員長から市長へ提出しました。



(銚田市新庁舎・公共施設等整備基本構想の策定に向けた要望書の提出)

#### 要望事項

1. 市民の声ならびに市民ニーズを反映させる新庁舎・複合施設
2. 職員が働きやすい環境の新庁舎・複合施設
3. 持続性のあるまちづくりに配慮した新庁舎・複合施設
4. 限られた自主財源と有効な国等の財源を活用する新庁舎・複合施設
5. 安心安全な新庁舎・複合施設
6. 環境負荷軽減等に配慮した新庁舎・複合施設
7. 本市の魅力発信の役割を担う新庁舎と複合施設
8. 意思決定機関である議会運営環境に配慮した施設整備

(要望書の一部抜粋)



要望書の全文はこちら



## 議会映像配信をご利用ください

一般質問や採決などの本会議の様子は、インターネットを使用したライブ中継や録画配信を行っています。

インターネット環境があればいつでもどこでも議会を視聴することができますので、ぜひご活用ください。(録画配信は概ね1週間程度で反映されます)



視聴はこちら

## 旭地区と大洋地区でも視聴ができます

インターネット環境がない方は、旭総合支所及び大洋公民館にてライブ中継の視聴ができますので、ご活用ください。お近くにお住まいの方も立ち寄った際はぜひ!



ライブ中継をご観  
いただく際の注意

## 議会傍聴希望の皆様へ

本会議は、原則として鉾田市議会傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢、電話番号を記入していただければ、誰でも傍聴することができます。(児童及び乳児は議長の許可が必要)

傍聴をご希望の方は、傍聴を希望される当日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

## 傍聴についてお願い

～傍聴の際は以下の点にご留意ください。～

- マスクの着用は、個人の判断に委ねます。
- 咳エチケットを励行してください。
- 手洗い手指の消毒を徹底してください。
- 熱がある場合や体調不良(だるい咳が出るなど)の場合は、傍聴参加を自粛願います。

## 議場内のルール厳守にご協力を



私語や拍手、高笑い禁止  
議場内は静粛に



携帯の使用禁止  
マナーモードに



議場内飲食禁止



庁舎内禁煙

**本会議** 3月、6月、9月、12月の4回開催

**場 所** 鉾田市議会議場 (鉾田市役所3階)

**開 会** 午前10時

**受 付** 鉾田市役所3階 議会事務局前  
(事前の申込不要)

**予告!!**

## 鉾田市議会に関するアンケート実施します!

本議会では、市民に開かれた議会を目指すとともに、議会活動を広く理解していただけるよう議会の活性化に取り組んでいるところです。

アンケートは、傍聴者から議会に対してどのような意見があるかを把握し、議会活動に反映することを目的に実施するものです。

議場での議会傍聴受付時にアンケートをお渡ししますので、ご協力をお願いいたします。アンケート用紙はお帰りの際、受付に置いてある回収箱に入れてください。

集約した意見等は、必要に応じて市長へ提言または政策立案等の参考にするとともに、ほこた市議会だよりや鉾田市議会ホームページにて公開いたします。あらかじめご了承ください。



令和6年第4回定例会からはじまるよ!

市民の皆さまの議会に対する声をお聞かせください。



## 委員会活動報告

### 総務企画常任委員会視察研修(令和6年8月5日)

**目的** 自治会等の運営・加入促進と市民協働のまちづくり及び入札・契約制度、契約工事環境改善の見直し等の方策について調査・研究を行うため

#### 茨城県 守谷市 自治会・町内会活動ハンドブックの発行 市民協働の人材育成に向けて

守谷市では、自治会等運営改善に関し、「自治会・町内会活動ハンドブック」を編集発行し活用を促すとともに、集会施設を用意できない自治会等へ補助金等による手厚い支援を行ってまいりました。また、自治会等役員の方々の負担軽減を図るため、「自治会等アプリ」の導入を進めており、本市でも参考になるものと思われました。

市民協働のまちづくりについては、市民や学識経験者の参画を得て、もりや市民大学運営委員会が、「もりや市民大学」の企画運営を行っており、新住民向け、高齢者いきがいづくりに加えて、まちづくり協議会コースを設け、市民協働の人材育成に努めているとのことでした。

本市は自治会加入・退会や市民協働のまちづくりの課題に対する取組が少ないので、早急な具体的提案が示されるべきと考えます。



(守谷市役所)

#### 千葉県 我孫子市 入札・契約制度、契約工事環境改善の見直し

我孫子市の入札・契約制度等についての取組の一端を理解するため、基本的な制度設計について調査を行いました。

総合評価方式入札の効果や入札及び契約制度検討委員会の統一性ある運用、さらに令和6年度からの本格的な働き方改革を行政発注工事等に取り入れた各種制度の運用後に見えてきた課題等も含め、報告を受けました。

また、我孫子市クリーンセンター整備に関する事例をもとに、入札方式や管理運営等における経費削減策、その後の修繕・財政計画について説明を受けました。

本市の厳しい財政状況を踏まえ、計画的な予算執行について改善と研究を求めています。



(我孫子市クリーンセンター)

### 総務企画常任委員会 9月25日

#### 【所管事務調査】

#### ○財政10ヶ年計画(令和7年度以降)と重点諸計画の整合性及び財政運営について

市の最上位計画である銚田市総合計画を含めた重点諸計画の意義や概要、推進方法・進捗状況等の説明と併せ、今後に予定される銚田・大洗広域事務組合負担金事業、新庁舎・公共施設等整備事業等の計画期間や事業費見込み、財源等について、各計画における位置づけと、その財政運営について説明を受けました。

今後の大規模事業を見据えた計画改訂と持続可能性を確保した工夫ある行政財政運営を求めるとともに、適宜、市民・議会への説明を求めました。



#### ○財政運営上活用する地方債及び本市各基金の有効性について

市債活用の考え方、過去10年間の活用状況、償還見込額等、財政調整基金及び減債基金の設置目的と活用状況、積立額、年度末残高、また主な特定目的基金である公共施設整備基金及び地域雇用創出推進基金、地域づくり基金の設置目的、過去5年間の活用状況、取崩し額等について説明を受けました。

地域づくり基金の充当状況のほか、水道事業広域化に向けての市債活用の考え方について確認したところ、県の動向を踏まえつつ、協議を進めているとの説明を受けました。



## 経済建設常任委員会 9月27日

### 【所管事務調査】

#### ○水道事業の広域化について

広域化に向けて本市が抱える課題、単独経営の場合のリスク、経営統合によって見込まれる効果、経営統合に関する基本協定概要とスケジュール等について確認しました。また、経営統合した場合の水道料金は値上げが見込まれるとの説明を受けました。

#### ○国道51号子生地区歩道整備事業の進捗状況について

令和2年度に地元説明会を行い、翌令和3年度より用地交渉業務を開始、令和6年8月末現在までに対象件数79件のうち56件（70.9%）との契約を締結している。また、令和6年10月以降から工事契約が順次締結されるとの説明を受けました。

#### ○鹿島灘海浜公園拠点化事業の進捗状況について

鹿島灘海浜公園拠点化基本構想を策定し、県や常陸河川国道事務所からも拠点化事業推進について、連携協力が図られる旨の回答があったこと、併せて、本事業の財源予定について確認しました。

本事業完成見込みについては、他の類似事業の取組を参考にすると基本計画策定後から概ね6年を費やしていることから、本事業もその年数期間を予定したいとのことでした。

#### ○観光イベント開催事業について

ほこたオータムフェスティバル2024の開催目的及び概要、入場者数は昨年度の21,000人以上を目標としていること、事業費は総額1,800万円であること、その他シャトルバス運行状況等についての説明を受けました。

#### ○海水浴場維持管理事業について

大竹海岸鉾田海水浴場中止理由と中止を知らずに来場された方への対応について確認したところ、砂浜の浸食が理由で中止し、来場者へは注意看板を設置し喚起しているとのことでした。県に対し、必要な改修についての要望を行ったところですが、引き続き、働きかけは継続していきたいとのことでした。



## 厚生文教常任委員会 9月26日

### 【請願審査】

#### ○請願第06-2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

審議結果：採択（関連記事P10）

### 【所管事務調査】

#### ○交通安全プログラムの進捗について

現在把握している小・中学校の通学路の危険箇所が44か所あることを確認し、安全対策など関係機関と協議を行っているとのことでした。また、通学路に張り出している枝木の撤去や道路の停止線等の引き直しなど早急に対応できる場所については随時対応しており、歩道などの整備が必要な箇所については、対応に時間が必要との説明を受けました。

#### ○地域包括支援センターの現状について

地域包括支援センターが高齢者の健康寿命延伸に向けた様々な事業を行っていることを確認しました。認知症サポーター育成事業については、認知症の人と家族を支える認知症サポーターの養成及び啓発活動を行い、さらに中学2年生を対象にした養成講座を開催しており、認知症について正しく理解できる機会を提供している旨の説明を受けました。その他にも介護予防啓発事業など様々な事業を行っており、参加者が1,000名を超える事業もありました。



# 掲載写真募集!! .....

あなたの写真を議会だよりに掲載してみませんか?

■写真のテーマ『発見! 魅力ある鉾田の風景』  
(例 北浦などの水辺の風景、花いっぱいな風景 など)

■申込方法  
下記の必要事項を明記のうえ、議会事務局まで画像データ持参またはメール(gikai@city.hokota.lg.jp)でお申し込みください。  
・氏名・住所・電話番号・写真撮影場所(〇〇地区など)  
・写真のタイトル(20字以内)  
※団体名(〇〇クラブなど)も記載希望の方は、そちらも明記ください。  
※掲載スペースの関係上写真は横向き。メールでの画像データはJPEG形式で6MB以内。

■注意事項  
画像等の返却はできません。また、人物等を含む写真の場合は肖像権の侵害等が生じないよう、事前に被写体の承諾を得たうえで申し込みください。



## 令和6年第4回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5 本会議 (開会)	6	7
8	9	10 一般質問	11 一般質問	12 一般質問	13	14
15	16 常任 委員会	17 常任 委員会	18 常任 委員会	19	20 本会議 (閉会)	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4

※日程は変更になる場合があります。

令和6年第3回定例会延べ傍聴者数 52名  
議会映像配信視聴数 467アクセス  
(令和6年9月3日~令和6年9月30日)

編集委員	委員長	羽成 洋一			
	副委員長	土子 勝也			
	委員	関根 正史	久保田 豊		
		鬼澤 治男	亀山 彰		



いっぱい練習したよ! ~第一保育所鼓笛隊~

### 傍聴者の声



白鳥東地区  
荒地区長  
菅谷 孟行

一般質問を傍聴し、市民のための市政運営を目指した議会として、健全な活動をされている様子を伺うことができました。

ただし、議員の方で一度も質問されない方もいるとの事。仕事として実施し、市民の声を市政に反映させ、税金の適切な使用の監視役を果たしていただきたい。

最後に、一般の方の傍聴が少ない様に感じたので、中・高校生に傍聴する機会を工夫していただきたい。

## 議会を傍聴してみませんか!

次回の定例会は  
**12月5日(木)~**  
開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。  
※日程は変更になる場合があります。